

滑 稽 新 聞 社

〒444-0103 愛知県額田郡幸田町
大字大草字 弥宜屋敷 (新科法) 63-1
月一の新聞出刊日には休刊とさせていただきます
第346号 創刊1990年7月28日
Email: kokkei1949@yahoo.co.jp

滑稽新聞

ユモア
滑稽というものは

現実にあるものではな
く、創りださるものだ。
人に笑われるといふ

は別にこちらの方が
重要でない。しかし人
を笑わすというのは

かたりの努力と必なり
の技巧のあるものなのだ

遠藤周作

新期のエネルギー漲る3月

我が家の庭先に、今年も白木蓮の花

がきれいに咲き揃った。一度は病気で枯れる寸前まで衰
弱したが手を施したら見事に蘇った。こゝろだ。

その満開の花のイキイキとした姿を見ながら、幸
田小学校に向かった。卒業式

の前日、同窓会入会式に参
列するたためた。母校の同窓会

長になって2年目。コロナ禍で学
校行事が悉く中止になる中、年

度末の大事な出番がやってきました。
卒業生代表の石塚純華さんが

先輩達が植えて下さった樹木に146年の学校の歴史を
感じます。卒業後も校訓の「さたえたくく」と胸に刻み

色々な事に挑戦して行きます。」と爽やかに刀強い言
いの言葉を告げてくれた。こゝろに打ち、同窓会長は「こ

の学校でございませう。思い出、改
郷の景色を大切にしてください。同窓生として将来栄えよく再

会し語り合えるように。」と言った言
葉を贈った。卒業して60年、当時

の記憶は無いが、成長のエネルギー
は12歳の後輩達同様漲っていた。

見事に蘇った我が家の木蓮



昔のことばを語りあげた卒業生代表の石塚純華さん

細やかながら地元愛 幸田 役戸会

幸田町在住の岡崎高橋卒業生ら、幸田

役戸会が創られた27年経つ。会員相互の交流と地域
の発展に貢献すると言う目的で実績を積み重ねた

がコロナ禍で環境が一変した。活動が阻まされたこと
昨年同様、寄付に絞った。子供の可能性を育む上で

本はとて不事、とりわけ健全な情緒の育成には絵本がよい、と役員の見
が一致し、贈呈することになった。4月には(おじいさんおばあさんによる)絵本

の読み聞かせも予定されている。贈呈式には町長教
育長も出席し感謝の言葉を述べた。

又こゝろとは別に5月9日の主旨に沿い、地元産の桜ど
ろいどを贈り、中央公園に設置した。幸田役戸会

は小田原の日ど財政力は無い。パンツはとてパンツが
届かないがベニチチなら買える。春、秋のスポーツシーズン

にはこのベニチチが特等席になるだろう。

豊橋道の駅が面白い
道の駅は全国に100か所以上あるそ
うだが、各々その土地の特徴を映し

出す。豊橋名産次郎柿をスライス杯に掲げ、ピー
ナツと同居させた「柿ピー」。もう一つは豊橋

発祥と言われる手筒花火を天ぷらして形作り
名物カレーうどんにトッピング。この発想大好き。



豊橋名産次郎柿をスライス杯に掲げ、ピーナツと同居させた「柿ピー」。もう一つは豊橋発祥と言われる手筒花火を天ぷらして形作り名物カレーうどんにトッピング。この発想大好き。



手筒花火カレーうどん



Come Come Everybody

朝ドラの楽しめ方

「カムカムエブリバディ」が毎朝得る楽しい。ストーリーそのものはワクワクドキだが、出演者や随所に聞かれる珠玉と

も言える台詞が又良い。英語を喋ることもよし、劇中を左巻の歌

と披露する世良公則、日系アメリカ人がぼんそ美事に演じる歌

と山崎良子等々配役の美事ごとサプライズには「参った」しかない。

その中で懐しく嬉しかつたのは目黒祐樹だ。東京に居た時通ったフ

ールに、その日俳優の目黒祐樹が現れた。然々と、多分2〜3km泳いで

いた。プール脇のサウナと一緒にたのび声をかけた。「たぶん泳ぐんですよ」

役者は体が資本ですからね。「目黒区に住む目黒さんって面白いんですよ」



目黒祐樹 役の真勇 短

「ええ、ごも以前は面白かったんですよ。有名人とり合

話はいつまでか、でも忘れたい。劇中のセリフで印象的

だったのは鍋の中の小豆に向か、て言うおまじない、おいし

やうなぬ〜、小豆は作る人の願いに応えたいのだろ

う。このおまじない、畑の野菜作りに応用しよう。元気に育て、おいしくはれ

ウクライナの隣国から、私の国は不幸にもNATOに

加盟しているが、今の所何も起きていない。自国が戦争に巻き込まれ

ないと思ってる。ウクライナからの避難民は最大限助けるわ。悲愴な思

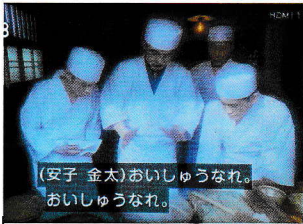


いのメッセージが届いた。隣国政の切迫感が漂っている。

ウクライナ民謡絵本が注目されてる。動物たちは小さな手袋に

仲良く入るのに、どうして人間は...

JANA (知バカリ)



あんののおまじない(知バカリ)

行きたかったな〜ドバイ万博

ドバイで開かれた万博が3月で閉幕した。現地に住んでいるコリンが写真と提供して

くれた。日本館は人気で、予約しないと入れなかった

が。広大な敷地に数々のパビリ

オンが開設され、とても一日では

見れないとわ。別の友人リナルの

リボンのお母さんは毎日のように見物しているそう。

コロナで開催が1年延期。日本からの出国も難しく、現地

の人の感想を聞くことがない。万博不景気」としては次の大阪万博に期待しよう

発汗雑感

▽どんよりとした雲に覆われたようは昨今の日本。世界

舞いこぼる自分を探すしかない。『スナウジョーク』と読む。

「男の人には何か言、こも片方の耳から入、こもう片方の耳から抜けてしま

しと女が言った。男は、女に何か言、と、両方の耳から入、て口に抜ける」と

切り返した。▽アメリカ人が日本に来て初めてマッシュレットを使った。あめは

快通だ。恍惚感すら覚える。前立腺上のアリアだ。▽Aサ見

ていて暮る瞬間は妻が軒下の前を通った時。▽地元の右士で男子学校

の先輩である大津先生が104歳で他界された。そくなる間際まで晩酌を

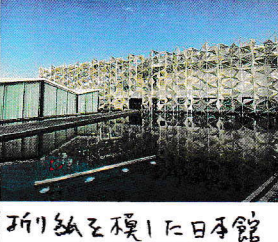
繰り返す。奥様との合計年齢が200歳超え。年金をこの

歳まで貰えるとは...。エピソードは山ほどあるそう。

▽ウグイスが杉浦サンクチュアリーにやって来た。ホー法華経

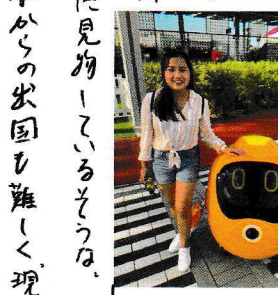
ケキョ〜のミア。オイ〜ウラは法華経じゃなく浄土真宗だよ

マカゴキ書も「三三」。また練習不足の感じぬ、あの鳴き方は、

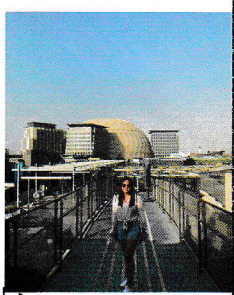


万博を模した日本館

コロシアムで開演が1年延期。日本からの出国も難しく、現地



カスタムロボット OPTIE



広大なDubai万博会場



編集長 杉浦康司

副編集長 杉浦康代

題字 極楽亭立往生

【無断転載不許可】